

講習の名称	学校教育における実践的な歌唱法および歌唱指導法	受講定員	20人
開設日	平成29年7月23日(日)	講習時間数	6時間
主な受講対象者	中学校・高等学校(音楽)教諭	会場	人間社会4号館 音楽ホール(1階)
講習の概要	中学校・高等学校の音楽の教科書で扱われている合唱曲と独唱曲の教材をとり上げ、その歌唱法と指導法を考察しながら、日本語と外国語の発音の違いなどを学ぶ。		
講習責任者	人間社会研究域学校教育系 教授 安藤 常光		
講習計画・内容			
時 間		内 容	
8:30-9:00	30	受付	
9:00-10:00	60	発声練習	
10:00-10:10	10	休憩	
10:10-11:10	60	合唱曲(邦人作品)の歌唱	
11:10-11:20	10	休憩	
11:20-12:20	60	合唱曲(邦人作品)の指導法の考察	
12:20-13:20	60	休憩(昼食)	
13:20-14:20	60	合唱曲(外国作品)の歌唱と指導法の考察	
14:20-14:30	10	休憩	
14:30-15:30	60	独唱曲の歌唱と指導法の考察	
15:30-15:40	10	休憩	
15:40-16:40	60	実技考査	
16:40-16:50	10	事後アンケート	
成績評価の方法	実技考査(独唱)によって発声技術や発音などを評価する。		
受講上の注意	<p>中高の音楽の教科書の教材となっている合唱曲・独唱曲を歌える能力を有すること。</p> <p>※教科書の歌唱教材である「帰れソレントへ」を日本語及び原語(イタリア語)で歌えるようにしておくこと。なおハ短調で徳永政太郎の訳詞とする。</p>		